事業番号 2023 - 文科 - 新24 - 0020

			令和5年》	ま行政事業レビ:	ューシート		(学省)
事業名	宇宙戦略基金の	創設				部局庁	研究開発局	7 377, 1	作成責任者
事業開始年度	令和!	5年度	事業終(予定)生		度 担当	当課室	宇宙開発利用課		宇宙開発利用課長 上田 光幸
<u>会計区分</u>	一般会計		(1)(1)						<u> </u>
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	_					系する 、通知等	・宇宙基本計画 (令和5年6月13日閣 ・経済財政運営と改 (令和5年6月16日閣		
政策	政策9 未来社	せ会に	向けた価値創出の取組と	£経済·社会的課題への対応					
			重要な基幹技術の推進		<u>主</u>	<u>要経費</u>		科学技術振興	費
	000018185_00		o.jp/content/20211008-	mxt_kaikesou02=					
事業の目的 (5行程度以内)	①宇宙関連市 ②宇宙を活用	場の抗した地			メ ーション)に向け [・]	て、以下の	目標を加速的に実現する) o	
現状・課題 (5行程度以内)	人類の活動領域の拡大や、宇宙空間からの地球の諸課題の解決が本格的に進展する中、多くの国が宇宙開発を国の事業として強力に推進しつつ、民間事業者は技術革新と商業化を強力に推し進めているなど、グローバルな競争環境も激化しており、宇宙活動に革新的な変化をもたらす技術進歩が急速に進展している。欧米の宇宙開発機関が、シーズ研究を担う大学等や商業化を図る民間企業等の技術開発への資金供給機能を有していることや、我が国宇宙産業が宇宙開発の中核機関たるJAXAの研究開発成果を基盤にビジネス展開しているケースも多いこと等を踏まえ、喫緊の課題である我が国の研究開発レベル・技術力の底上げに向けて、JAXAの先端・基盤技術開発能力のみならず、JAXAによる民間企業や大学等の支援機能を強化し、JAXA、民間企業及び大学等が失敗を恐れずにチャレンジすることで、我が国の宇宙産業を支える技術的優位性を継続的に作り続ける必要がある。								
争耒恢安	我が国の中核的宇宙開発機関であるJAXAの役割・機能を強化し、スペース・トランスフォーメーションの加速を実現する。このため、民間企業・大学等が複数年度にわたる予見可能性を持って、宇宙関連市場の拡大、宇宙を活用した地球規模・社会課題解決への貢献、宇宙における知の探究活動の深化・基盤技術力の強化に向けた研究開発に取り組めるよう、新たな基金を創設し、産学官の結節点としてのJAXAの戦略的かつ弾力的な資金供給機能を強化する。								
事業概要URL	_								
<u>実施方法</u>	補助								
補助率等	_								
				令和2年度	令和3年原		令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		:	当初予算(A)	-	-		-	-	3,000
		7	埔正予算(B)	-	-		-	150,000	
	令	3和5年	F度第1次補正予算					150,000	
								-	
								-	
	予算の 状況							-	
予算額• 執行額								-	
(単位:百万円)		前年	度から繰越し(C)	-	-		-	-	-
(インプット)		翌年	度へ繰越し(D)	_	-		-	_	
			予備費等(E)	-	-		-	-	
	:	=(A)+	計(F) (B)+(C)+(D)+(E)	-	-		-	150,000	3,000
			示額(G)	-	_		-		
			率(%)	_	_		_		
		補正・ の割	G)/(F) 予算に対する執行額 合(%) [(A)+(B)]	_	-		_		
			·算項·目	令和5年度当初予算	令和6年度			は増減理由(・要望額・	予備費)
令和5•6年度	(項)		研究開発推進費			重	重要政策推進枠3,000百	5万円	
予算内訳 (単位:百万円)	([∄)	宇宙開発支援事業費補助金		3,000				
		<u> </u>	その他 †(A)		3,000				
	I	Ē	I \ ^ /	_	ა,000	- 1			

活動内容① (アクティビティ)		宇宙関連市場の拡大に向けた研究開発	色の推進									
	Ţ											
		 	活動指標		単位	一	令和3年度	令和4年度	5年度	6年度		
	標及び活動実績		新規採択分を含む当該年度	活動実績	件	-	-	-	活動見込	活動見込		
(7		発課題を支援する	の支援件数	当初見込み	件	-	-	-	-	15		
1	(アウトプット	研究開発の進捗やTRLの進行に伴い、はなお、アウトプット・アウトカム指標についや入れ替え等を個別に検討する予定で	いては、事業全体としての指標 !	が必要となる こ限らず、今	んため。 ·後決定す	⁻ る研究開発の	対象領域の特	f性•市場動向	等に照らして、	指標の追加		
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標	· 年度 7 年度		
成果目標	標及び成果実績 ①-1		ナ東サーバングルシケウト	成果実績		-	-	-		/ <u>十及</u> -		
(短期	カラムしエノハ	地上実証及び軌道上実証の実施	本事業において当該年度に地上又は軌道上実証が行わ	目標値		-	1	-		_		
			れた回数 	達成度	%	-	-	-		-		
根拠 統計・ /定性的	情及び目標値の として用いた データ名(出典) 対なアウトカムに る成果実績	(出典)JAXA調べ 目標値は各事業の計画における当該年	度の実施予定件数に応じて定	める。								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	研究開発課題で支援を受ける宇宙関連	スタートアップ企業等が事業の	拡大等に向	け資金調]達を実施する	ため。					
成里日	標及び成果実績	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標	年度 11 年度		
	①-2	 宇宙関連スタートアップ企業の調達額	本事業で支援を受けたスタートアップ企業の当該年度の本	成果実績	億円 ———	-	-	-				
		の増加	事業以外での資金調達額の 合計	目標値 達成度	 			_		- 		
根拠統計・ 統計・ /定性的	積及び目標値の として用いた データ名(出典) 対なアウトカムに つる成果実績	(出典)JAXA調べ 目標値は前年度の成果実績以上とする	•			1						
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	宇宙関連のスタートアップ企業への投資	餐額が増えることで、事業が拡 力	てし国内の宇	≃宙関連市	方場が拡大する	かため。					
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最	終年度 - 年度		
	標及び成果実績		Th 1855 a ± ± ±	成果実績	兆円	4	-	-		-		
(長邦	期アウトカム)	 宇宙関連市場の拡大 	我が国の宇宙産業の市場規 模(億円)	目標値	兆円	-	-	-		_		
				達成度	%	-	-	-		_		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		(出典)宇宙基本計画										
			アクティビティ①につい	いて定性的な	なアウトカ	ムを設定してい	vる理由					
アウトカ	ム設定について											
	の説明		アクティビティ①につ	いてアウト	カムが複	数設定できない	·理由					
		_										

活動内容② (アクティビティ)		宇宙を活用した地球規模・社会課題解え	央への貢献に向けた研究開発 <i>の</i>	の推進						
	\downarrow									
千動 日 七	で ひょく 汗動 宇 徳	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度活動見込
舌動目標及び活動実績 ②。、		宇宙を活用した地球規模・社会課題解		活動実績	———— 件	-	-	-	- -	——————————————————————————————————————
(7	' ウトプット)	決への貢献に資する研究開発課題を 支援する	の支援件数(再掲)	当初見込み	件	_	-	-	-	15
1	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	研究開発の進捗やTRLの進行に伴い、 なお、アウトプット・アウトカム指標につい や入れ替え等を個別に検討する予定で	ハては、事業全体としての指標に	が必要となる こ限らず、今	るため。 *後決定す	⁻ る研究開発の	対象領域の特	∲性•市場動向 [:]	等に照らして、	指標の追加
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標	集年度 7 年度
果目	標及び成果実績 ②-1		大車券にかいて火部を乗に	成果実績	□	-	-	-		-
(短其	タアウトカム)	地上実証及び軌道上実証の実施(再 掲)	本事業において当該年度に地上又は軌道上実証が行わ	目標値	回	-	-	-		_
		197	れた回数(再掲)	達成度	%	_	-	-		_
	データ名(出典) 内なアウトカムに 「る成果実績	目標値は各事業の計画における当該年 	E度の実施予定件数に応じて定	める。(再掲	<u> </u>					
	ウなアウトカムに 一る成果実績 成果目標②-2の 設定理由	目標値は各事業の計画における当該年 動道上実証等を踏まえ、社会課題解決				こ向けた国際的	的な議論の場で	での情報提供等	≨の公的利用が	が進むため。
関す ↓	ウなアウトカムに つる成果実績 成果目標②-2の設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	軌道上実証等を踏まえ、社会課題解決 成果目標				こ向けた国際的	うな議論の場で 令和3年度	での情報提供等		が進むため。
異目	ウなアウトカムに一る成果実績 成果目標②-2の設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	軌道上実証等を踏まえ、社会課題解決 成果目標	に向けた自治体等との契約や、 定量的な成果指標 当該年度における本事業の		果題解決に					战 終年度
果目	ウなアウトカムに 一る成果実績 成果目標②-2の 設期アウトカム からのつながり) 際及び成果実績 ②-3	軌道上実証等を踏まえ、社会課題解決 成果目標	に向けた自治体等との契約や、	地球規模語	果題解決(i	令和2年度	令和3年度	令和4年度		战 終年度
異目	ウなアウトカムに 一る成果実績 成果目標②-2の 設期アウトカム からのつながり) 際及び成果実績 ②-3	軌道上実証等を踏まえ、社会課題解決 成果目標	に向けた自治体等との契約や、 定量的な成果指標 当該年度における本事業の 成果を活用した公的機関・国	地球規模認	果題解決(i	令和2年度 -	令和3年度 -	令和4年度	目標最	· 战終年度
関 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ウなアウトカムに 一る成果実績 成果目標②-2の 設期アウトカム からのつながり) 際及び成果実績 ②-3	軌道上実証等を踏まえ、社会課題解決 成果目標 地球規模・社会課題解決への貢献	に向けた自治体等との契約や、 定量的な成果指標 当該年度における本事業の 成果を活用した公的機関・国際的枠組みへのサービス等 の提供回数	地球規模記 成果実績 目標値	果題解決(i 単位 回 回	令和2年度 - -	令和3年度 - -	令和 4 年度 - -	目標最	と終年度 年 -
────────────────────────────────────	内な	軌道上実証等を踏まえ、社会課題解決 成果目標 地球規模・社会課題解決への貢献 (出典)JAXA調べ 目標値は前年度の成果実績以上とする	に向けた自治体等との契約や、 定量的な成果指標 当該年度における本事業の 成果を活用した公的機関・国際的枠組みへのサービス等 の提供回数	成果実績目標値達成度	果題解決(i 単位 回回 %	令和2年度 - - -	令和3年度 - - -	令和 4 年度 - -	目標最	と終年度 年 「 - -
	ウンス は	軌道上実証等を踏まえ、社会課題解決 成果目標 地球規模・社会課題解決への貢献 (出典)JAXA調べ 目標値は前年度の成果実績以上とする	に向けた自治体等との契約や、 定量的な成果指標 当該年度における本事業の 成果を活用した公的機関・国際的枠組みへのサービス等 の提供回数	水理集積をは、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学で	果題解決に 単位 回回%	令和2年度 - - - - -	令和3年度	令和 4 年度 - -	目標最	と終年度 年 「 - -

活動内容③ (アクティビティ)		宇宙における知の探究活動の深化・基準	盤技術力の強化に向けた研究原	開発の推進							
	1										
活動目	・ 標及び活動実績	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見	
	3	宇宙における知の探究活動の深化・基盤技術力の強化に資する研究開発課	新規採択分を含む当該年度 の支援件数(再掲)	活動実績	件	-	_	-	-	-	
		題を支援する	の又抜什致(丹狗)	当初見込み	件		-	-	-	15	
↓	(アウトプット	研究開発の進捗やTRLの進行に伴い、はなお、アウトプット・アウトカム指標についた入れ替え等を個別に検討する予定で	ヽては、事業全体としての指標 に	が必要となるこ限らず、今	ため。 後決定す	-る研究開発の	対象領域の特	∲性•市場動向 [。]	等に照らして、	指標の追	鱼加
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標	· 注年度 7	年度
成果目標	標及び成果実績 ③-1		= #4, _ bu , _ v ! = b f = f = 1	成果実績		-	-	-		_ /	干塻
(短期	タファイ タイプ タイプ タイプ タイプ タイプ タイプ タイプ タイプ タイプ タイ	地上実証及び軌道上実証の実施(再 掲)	本事業において当該年度に地上又は軌道上実証が行わ	目標値	回	-	-	-		_	
			れた回数(再掲)	達成度	%	-	-	-		_	
根拠 統計・元 /定性的	成果目標③-2の 設定理由	(出典)JAXA調べ 目標値は各事業の計画における当該年 地上・軌道上実証やその後の探査・実験				「創出されるた	め。				
成果目標	標及び成果実績 ③−2	成果目標	定量的な成果指標	成果実績	単位 ——本	令和2年度	令和3年度 -	令和4年度		年度 11 4	年度
(中)	ップ <u>-</u> 関アウトカム)	本事業から輩出された論文数が増加する	本事業の支援を受けて当該 年度に輩出された論文数	目標値	本 %	-	-	-			
根拠 統計•÷ /定性的	積及び目標値の として用いた データ名(出典) 対なアウトカムに る成果実績	(出典)JAXA調べ 目標値は前年度の成果実績以上とする	•			1					
→	成果目標③-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	科学的・学術的価値の大きい論文は、-	-般的に被引用数が増加するた	: め。							
*===		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最	終年度 - 4	年度
	標及び成果実績 ③-3 マウトカノン		本事業の支援を受けて輩出さ		回	-	-	-			
(長月	朝アウトカム)	論文の被引用数	れた論文の当該年度の被引 用数の合計	目標値	<u> </u>	-	_	-		_	
根拠 統計・ /定性的	積及び目標値の として用いた データ名(出典) ウなアウトカムに る成果実績	(出典)JAXA調べ 目標値は前年度の成果実績以上とする	•	達成度	%	_	_	-		_	
			アクティビティ③につし	いて定性的な	アウトカ	ムを設定してし	いる理由				
アウトカ	ム設定について	_									
	の説明		アクティビティ③につ	いてアウト	カムが複	数設定できない	・ 理由				
		_									

活 (ア	・動内容④ ・クティビティ)	宇宙へのアクセス拡大による宇宙開発利用分野への参画								
	1									
活動目	標及び活動実績	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	④ カレプ…し)	本事業を通じた我が国のロケットによる 打上げ	当該年度における本事業に係る数が国のロケットの打上げ		<u> </u>	-	-	-	-	-
		11217	回数	当初見込み	□	_	_	_	_	_
\		輸送分野での研究開発の進捗や本事業における研究課題の進捗に伴う打上げの実施等により、本事業に係るものに限らず、我が国のロケットによる打上げ実績が苦味されていくない。								
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標昻	最終年度 年度
	標及び成果実績 ④-3 #Rマナレナノン		当該年度における我が国のロ ケットの打上げ回数	成果実績	回	3	4	-		_
(長邦	朝アウトカム)			目標値	<u> </u>	-	-	-		_
達成度 % - - -										
	アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由									
アウトカム設定について										
	の説明		アクティビティ④につ	いてアウト	カムが複数	数設定できなし	/理由			
		事業期間全体を通じて設定すべきアウト	カムであり、段階的に達成する	ものではな	いため。					

事業に関連する	名称										
KPIが定められて いる閣議決定等	URL	_									
	該当箇所										
		事業所管部局による点検・改善									
点検結果		事業実施に当たっては、透明性を確保して民間企業や大学等の選定を行うとともに、事業 経費の費目・使途の厳正な精査を行うことにより、効率的に事業を実施できるよう努める。	目標年度における効果測定に関する評価(令和8年度実施)								
改善の 方向性		事業の重要性や目的を踏まえ、適正な選定プロセスを行うとともに、事業経費の効率的な 外部有識者の所見	執行を図り、且つ効果的な事業成果が得られるよう努める。								
	対象外	プトの行政名の方式									
		 行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程									
		事業目的の達成に向け、効率的な予算執行を図り、費用対効果の向上等に努めること。									
		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映	央状況								
			~*V\#\								
		ᄼᄱᆒᆔᅩᆿᆌᄱᄹᆇᄼᄜᄊᇎᄼᆀᄱᆝᄼ	・セルスやリナトや								
		公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)に	-おける取りまとめ								
		_									
		上記への対応状況									
AP 4	. I	_									
過去に受けた指 と対応状法	插事項 況										
		その他の指摘事項									
		_									
		上記への対応状況									
		上記・マクタリルいわんか									
		_									
		備考									
-											
	ı	関連する過去のレビューシートの事業番号	}								
平成23年度											
平成24年度	<u> </u>										
平成25年度											
平成26年度											
平成27年度	-										
平成28年度											
平成29年度	<u> </u>										
平成30年度											
令和元年度	<u> </u>										
令和2年度	 										
令和3年度											
令和4年度											

